

ふれあいネットワーク

しゃきょう

浜中町社協だより



8月号
H26

会長就任にあたって



社会福祉法人
浜中町社会福祉協議会
会長 熊谷 正

本年六月一日、定款の定めにより評議員会、理事会を経て会長に就任いたしました。

当協議会は現在まで六名の会長が重責を務められてきました。諸先輩のこれまでの実績と職責の重大さを考えますと身の引き締まる思いであります。評議員、理事、副会長の経験を活かし更に町民皆様のお力添えを賜りながら力を尽くして参る所存でございます。

さて、時は「少子高齢化社会」と言われ少し経ち、少子化は平成元年の一・五七ショックから出生率が回復せず、この一〜二年で微増となりましたが出生数は過去最少です。

高齢化は国際基準により七%超を言いますが、日本では昭和四五年高齢化社会、平成七年高齢社会、平成一九年超高齢社会になりました。浜中町は二七%

強ですからやはり超高齢社会です。

ここまでは少し暗いイメージがありますが、私はそればかりとは思いません。子供はゆとりのある学び舎で教育を受け、親からは豊かな愛情と経済の恩恵を受け育ちます。かつてのマンモス校や五〇人学級は無くなり、家には大型車があり家族レジャーも増えたでしょう。一方、大人は世界一の長寿国となりアフリカ諸国や昔の日本からみると倍の人生を送ることが可能になりました。更に医療・社会保障制度の充実を実現する契機ともなりました。

社会福祉協議会も時代のニーズに合わせ、心配ごと相談所やボランティアセンターの開設、在宅福祉事業の実施に取り組んで参りました。特に平成二三年のしゃきょう介護センター「えぞふうろ」開設、本年七月に開設したばかりのしゃきょう介護プラセンター「あじさい」は今後の浜中町の在宅福祉を支える重要な位置づけになるでしょう。

今後社会は今までにない生活課題が予想され、わが町に影響のあること、ないことの取捨選択も鍵になります。

安藤義秋前会長は「社協は住民の代表者。音頭をとって代弁者となること」とおっしゃってました。私もその意思を引き継ぎ更なる町民皆様とのパートナーシップづくりに重点を置いた活動を目指し、公共性の高い法人として法を遵守した地域福祉の推進役として努力します。よろしくご協力賜りますようお願い申し上げます。

(熊谷 正会長略歴)

- 昭和二八年生まれ、(宗)霧多布神社宮司
- 平成一二年 評議員
- 平成一四年 理事
- 平成二二年 副会長理事
- 公職
- 浜中町選挙管理委員会委員長
- 職務代理者
- 厚岸地区保護司会浜中町分区保護司

退任あいさつ

顧問(前会長) 安藤 義秋

この度、五月の役員任期満了をもちまして会長を退任いたしました。

顧みますと昭和五四年、評議員から始まり今日に至るまで三五年にわたりご厚情ご支援を賜り、重責を大過なく果たすことができました。本当にありがとうございました。

社協会長と同時に民生児童委員協議会長、浜中福祉会理事長と重複の時期があり大変な面もありましたが、福祉について大変貴重な経験と勉強をさせていただきました。厚く御礼申し上げます。

これからは一地域住民として福祉のまちづくりに参加して参ります。お世話になりました町民皆様のご健勝ご活躍をご祈念申し上げます、退任のご挨拶とお礼に代えさせていただきます。

社会福祉法人 浜中町社会福祉協議会

役員と組織 (H26.6.1~H28.5/31)

社協役員の任期満了により、定款に基づき新しい役員が選出されました。
今後それぞれの立場で社協事業の推進にご意見をいただき、地域福祉の増進につとめます。



◎=部会長 ○=副部会長

- ◎ 浜中町共同募金委員会
- 会 長 西原 基治 (霧多布)
- 副会長 佐藤吉之輔 (羨古丹)
- ◎ 浜中町ボランティア団体連絡協議会
- 会 長 山崎 雷司 (霧多布)
- 副会長 久野 辰子 (霧多布)
- 今 裕子 (霧多布)
- 藤枝 敦子 (霧多布)
- ◎ 浜中町老人クラブ連合会
- 会 長 鳥居 武夫 (霧多布)
- 副会長 佐藤吉之輔 (羨古丹)
- 山田 栄 (暮帰別)
- ◎ 身体障害者福祉協会浜中町分会
- 会 長 石原 利彌 (藻散布)
- 副会長 鈴木 和雄 (茶内)
- 佐川 忠 (姉別)
- ◎ 浜中町赤十字奉仕団
- 委員長 久野 辰子 (霧多布)
- 副委員長 相田まり子 (霧多布)
- 天間館りゆう子 (霧多布)
- ◎ 浜中町遺族会
- 会 長 盛合 剛治 (霧多布)
- 副会長 鈴木 和雄 (茶内)
- 鈴木 和雄 (茶内)

新役員のご紹介

社協が事務局を担当している福祉団体でも役員改選が行われました。新体制をご紹介します。(敬称略)

指定居宅介護支援事業所 しゃきょう介護プランセンター「あじさい」 開設しました

このほど浜中町社会福祉協議会は介護保険法による居宅介護支援事業所として北海道知事より認可を受け、本年7月22日より事業を開始しております。平成23年度に開設しましたしゃきょう介護センター「えぞふうろ」(訪問介護、指定障害サービス事業)に続いての介護保険事業になります。

日本の社会全体が人口減少社会を迎えた今、生涯を通して心豊かな生活となるよう、ご利用者のよき支援者となり権利を尊重した適切なケアマネジメントができる事業所を目指して参ります。

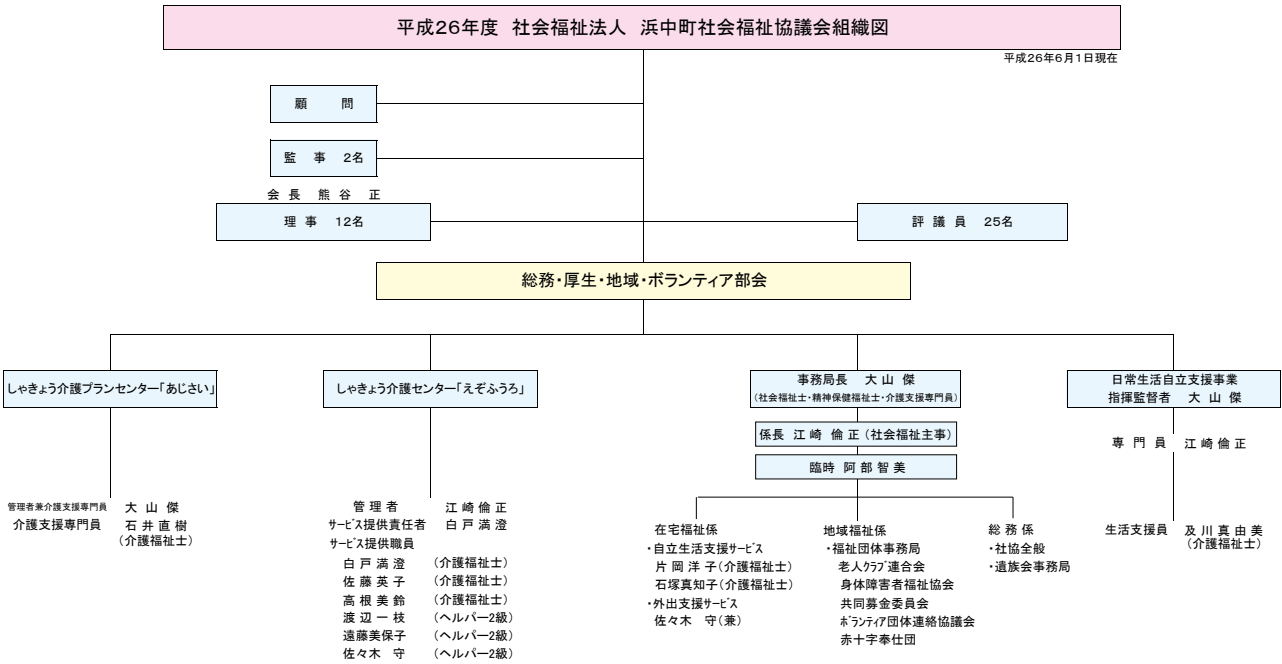
指定居宅介護支援事業所とは

介護保険を利用する介護の必要な方や、ご家族のご要望を尊重し、心身の状態や家族の状況を考慮して、適切なサービスを利用できるように支援する事業所です。 介護支援専門員の資格を持つケアマネジャーが、ご利用者とサービス事業所のパイプ役となり、連絡調整や介護に関する様々なご相談に応じます。

【サービス利用までの流れ】 実際にサービスを受けるには？

まずは町福祉保健課相談窓口で要介護認定・要支援認定の申請をしましょう。申請後は、町から職員が派遣され、聞き取り調査(認定調査)が行われます。 また、町からの依頼により、かかりつけのお医者さんが心身の状況について意見書(主治医意見書)を作成します。 その後、認定調査結果や主治医意見書に基づくコンピュータによる一次判定及び、一次判定結果や主治医意見書に基づく介護認定審査会による二次判定を経て、町が要介護度を決定します。詳しい内容をお知りになりたい方は、しゃきょう介護プランセンター「あじさい」までご連絡下さい。

- 事業所名 しゃきょう介護プランセンター「あじさい」
- 事業所所在地 霧多布東3条1丁目 浜中町老人福祉センター内
- 営業日 月曜日から金曜日(土日祝日及び12月31日から1月5日までの期間は除く)
- 営業時間 午前8時45分～午後5時15分
- 事業所連絡先 電話・FAX 62-3717 (あじさい専用回線)
Eメール ajisai@bz04.plala.or.jp
- 事業所スタッフ 管 理 者 大 山 傑
 介護支援専門員 石井 直樹・大山 傑



平成 25 年度決算・財産の状況

社協では毎年自治会等を通じて1戸あたり300円の会費をいただいております。この「会費」は人件費や事務費に充てることなく、全額事業費（敬老会補助など）として地域に還元しております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

※社協は内部監査と外部監査を実施し、知事や法務局へ届出しています。

平成25年度一般会計決算収支計算書（平成25年4月1日～平成26年3月31日 単位：円）

借方科目	金額	貸方科目	金額
人件費	20,299,552	受取利息配当金収入	3,609
会議費	59,657	会費収入(自治会・町内会)	545,200
旅費交通費(事務費)	445,089	一般寄付金収入	498,202
正副会長会	(23,710)	一般募金配分金収入	1,052,013
理事会	(42,595)	歳末たすけあい配分金収入	902,000
評議員会	(49,900)	町補助金収入	31,818,000
監事会	(6,910)	道社協受託金収入	78,000
旅費	(321,974)	町受託金収入	10,544,000
通信運搬費	191,693	介護センター事業収入	2,595,221
車輛管理費	570,690	積立金戻入収入	600,000
消耗品費	129,687	雑収入	43,900
研修費(事務費)	31,405	前年度繰越金収入	869,147
旅費交通費(事業費)	108,000		
印刷製本費	247,025		
研修費(事業費)	122,164		
自立生活支援事業費	5,563,000		
移送サービス事業費	4,381,000		
移動支援事業費	578,343		
業務委託費	19,400		
諸謝金	116,527		
雑費	64,520		
雑支出	58,930		
介護センター事業費	10,786,921		
助成金支出	2,400,000		
老人クラブ連合会助成金	(63,000)		
敬老会助成金	(959,000)		
単位老人クラブ助成金	(126,000)		
身体障害者福祉協会助成金	(63,000)		
遺族会助成金	(65,000)		
保護司会助成金	(30,000)		
共同募金委員会助成金	(21,000)		
歳末たすけあい配分金	(902,000)		
浜中地区子ども会助成金	(80,000)		
民生児童委員助成金	(66,000)		
ボランティア団体連絡協議会助成金	(25,000)		
負担金支出	257,500		
退職積立金繰入支出	1,117,950		
固定資産取得費	1,048,080		
予備費	0		
次年度繰越金	952,159		
借方合計	49,549,292	貸方合計	49,549,292

一般会計決算貸借対照表（平成26年3月31日現在 単位：円）

借方科目	金額	貸方科目	金額
流動資産	2,226,688	流動負債	1,274,529
預貯金	(2,226,688)	未払金	(1,138,624)
固定資産	30,335,037	預り金社会保険料	(27,351)
基本財産	(1,000,000)	預り金源泉所得税	(108,534)
固定資産物品	(1,043,882)	退職給与引当金	15,478,668
無形固定資産	(399,234)	基本基金	13,056,369
権利	(72,800)	基本金	(1,000,000)
退職共済預け金	(3,711,540)	その他の基金	(12,056,369)
退職共済積立預金	(11,767,128)	その他の積立金	1,800,000
福祉基金積立預金	(10,540,453)	施設整備等積立金	(1,400,000)
その他の積立預金	(1,800,000)	その他の積立金	(400,000)
		次期繰越活動収支差額	952,159
		前期繰越活動収支差額	869,147
		(うち当期活動収支差額)	(83,012)
借方合計	32,561,725	貸方合計	32,561,725

◎愛情金庫貸付事業特別会計資金総額（運転資金＋債権）

1,804,370円

団体事業ご紹介

社会福祉協議会では社協本体組織のほかに六団体の事務局を担っています。

最近の事業から一部をご紹介します。

● 浜中町ボランティアセンター



「ボランティア入門講座」(霧多布高校ボランティア部)



「中・高校生ボランティアリーダー養成講座②」(普通救命講習)



「中・高校生ボランティアリーダー養成講座①」(清掃活動)



● 浜中町遺族会

「北海道護国神社参拝」(旭川市)



● 浜中町赤十字奉仕団

「津波防災避難訓練」(霧多布温泉ゆうゆう)



「釧老連東ブロック研修会」(総合文化センター)



● 浜中町老人クラブ連合会

「釧老連ゲートボール大会」(釧路市)



24時間テレビ37「愛は地球を救う」

2014年8月30日(土)～8月31日(日)放送

今年のテーマ

小さなキセキ、 大きなキセキ

メインパーソナリティ：関ジャニ∞

チャリティマラソンランナー：城島 茂



「しゃきょう」では今回9回目の

浜中町特設募金所

〈と き〉8月31日(日)

予
定

午前10時～午後2時まで

〈と ころ〉浜中町老人福祉センター(商工会となり)
(荒天は中止)

浜中町公認募金所 実績

第1回目(2006『 絆 』)	286,284円
第2回目(2007『人生が変わる瞬間』)	119,113円
第3回目(2008『誓い～一番大切な約束』)	160,973円
第4回目(2009『START!～一步を踏み出そう～』)	126,828円
第5回目(2010『ありがとう～今、あの人に伝えたい』)	91,840円
第6回目(2011『力～わたしはたいせつなひとり』)	120,216円
第7回目(2012『 未 来 』)	122,306円
第8回目(2013『ニッポンって?～この国のかたち～』)	68,673円

- 霧多布 金田 哲也
- 暮帰別 原田ヤエ子
- 琵琶瀬 野崎まゆみ
- 〃 澤田恵美子
- 丸山散布 佐藤ふさゑ
- 〃 松田 則子
- 榊町 藤田すみ子

▼資源ボランティア (切手・リングブル)

匿名 一〇〇、〇〇〇円

茶内ダンス友の会 二〇、〇〇〇円

霧多布 金田 百合子 三〇、〇〇〇円

茶内女性有志一同 五〇、〇〇〇円

浜中町文化協会 五二、一一四円

霧多布 小松 ヒデ 三、〇〇〇円

羨古丹 立花 英敏 一〇〇、〇〇〇円

▼一般寄付 (敬称略)

(平成二十六年三月～七月)

善意の志
ありがとうを込めて
させていただきます

… 発行 …

社会福祉法人
浜中町社会福祉協議会

〒088-1513
浜中町霧多布東3条1丁目
(浜中町老人福祉センター内)

電話：0153-62-5016 (直通)
FAX：0153-62-3049
E-mail：krh31chi@atlas.plala.or.jp



茶内歌謡愛好会の皆さん (26年6月)

- 暮帰別 児玉 弥生
- 浜 中 上杉美津江
- 浜中東南 伊藤由美子
- 茶内歌謡愛好会
- 浜中市街親交会婦人部
- 町立浜中診療所
- 浜中町役場総務課/建設課
- 浜中町教育委員会生涯学習課



この「社協だより」は赤い羽根共同募金助成金の一部を受けて発行しています。